

大辞林<sup>1</sup>、新語はネットですぐ追加 三省堂<sup>2</sup> がweb版発刊

辞典出版の大手、三省堂（東京都千代田区）は、中型国語辞典「大辞林」の内容を逐次更新し、最新

項目を追加する「Web版スーパー大辞林」をつくり、4月からインターネットで有料公開を始めた。

大辞林は第3版への改訂作業が進んでいるが完成は数年後で、日々生まれている新語への対応は難し

い。そこで、新しい言葉はインターネットで、定着した言葉は出版物でとすみ分け<sup>3</sup>をはかることにした。

大辞林は、岩波書店<sup>4</sup>の「広辞苑<sup>5</sup>」に対抗して1988年に誕生。95年の第2版には23万300

0項目が収録されている。スーパー大辞林には、その後の改訂作業で収集された中から2万弱を追加

した。今後も1カ月当たり200～300の割で新項目を増やしていく。語義解説は、大辞林と同じ

各分野の専門家が執筆する。

三省堂はすでに、半年で1500円の会費を払えば出版ずみの大辞林や新明解国語辞典などがネット

で検索できる有料サービス「e辞林」を運営している。1999年末、「ミレニアム<sup>6</sup>」（千年記）の意味

を調べる人が急増したが、当時、この言葉を取り上げた国語辞典が三省堂にはなかった。

「専門出版社なのに読者の求めに応えられず、恥ずかしかった」（国語辞書出版部）。これを機に<sup>7</sup>、

---

<sup>1</sup> 大辞典の名前

<sup>2</sup> 日本の大手出版社の一つ

<sup>3</sup> それぞれの領域を決めて、やっていくこと

<sup>4</sup> 日本の大手出版社の一つ

<sup>5</sup> 大辞典の名前

<sup>6</sup> millennium

<sup>7</sup> きっかけに

7～10年ごとの改訂とは別に、小回りが利く<sup>8</sup>Web版の辞典づくりを始めた。一新したe辞林では、スーパー大辞林に加え、英和・和英辞典も随時更新する。さらに、読者から「知りたい言葉」を募集する窓口も設け、新語採用の参考にする。

本の国語辞典は時事用語集とは異なり、「日本語として定着した」と判断した言葉に限り掲載される。

大辞林第3版には、スーパー大辞林に載った言葉をさらに厳選して収録することになるという。

「スーパー大辞林に新しく載った言葉」

爆睡（熟睡より深い眠り） ホットスポット（地球内部から高温の物質が上昇してくる地点／紛争

地帯） パリスタ（イタリア語。喫茶店の給仕人） ルーレット族（首都高速道路を高速で周回する

ドライバー） 豚トロ（豚のほおから肩にかけての肉。ピートロ） 交差汚染（調理済み食品が原材料

と交わって汚染されること） 立志式（数えの15歳を祝う通過儀礼行事） スポッター（航空機観察

マニア／サッカー会場で騒ぎそうな人物を特定する専門捜査官） ホテイチ（レストランの料理など

を販売するホテル1階） プート屋（海賊盤のレコードやCDの販売店） スモーキングガン（決定的

証拠。コナン・ドイルの小説が語源）

(04/20 11:59)

<http://www.asahi.com/culture/update/0420/002.html> 【アサヒドットコムより】

---

<sup>8</sup> すばやく適切な対処がとれること